

# 社会福祉法人 雅福社会立 那覇市認定こども園 松島こども園

## 第三者評価結果報告書

### 【 開園4年目 2回目受審 (最終) 】

#### ① 松島こども園の情報

名称： 松島こども園	種別： 那覇市公私連携認定こども園	
代表者氏名： 島 朋子 園長 比嘉 亜利沙 主幹保育教諭	定員 (利用人数)： 95 ( 93 ) 人	
所在地： 那覇市古島2丁目30番12号		
TEL (098) 943-3558	ホームページ： <a href="http://matusima-kodomoen.jp/#hometop">http://matusima-kodomoen.jp/#hometop</a>	
【認定こども園の概要】		
開園年月日： 2018年(平成30年)4月1日		
経営法人・設置主体(法人名)： 社会福祉法人 雅福社会		
職員数	常勤職員： 10名	非常勤職員： 3名
職 員	園長 1名	主幹保育教諭 1名
	事務員 1名	保育教諭 10名
設備等の概要	園舎 471㎡ RC(鉄筋コンクリート)造2F 【小学校敷地内】 幼児教育・保育室(3～5歳児 各56㎡×4室)・遊戯室 111㎡・職員室 職員更衣室、 屋外遊戯場(園庭)	
建築年月(築年数)	1998年(平成10年12月) 【築24年】	
移管前(2017年4/1)児童人数	47人(2クラス うち5歳児 2クラス 47人)	
現在(2021年4/1)の児童人数	89人(4クラス 5歳児2クラス53人、4歳児1クラス24人、3歳児1クラス12人)	
給 食	自園調理(2018年度に調理室を設置、2021年度より調理業務を専門業者N社に委託)	

#### ご利用状況

1号	5歳	4歳	3歳	計
定員	10人	7人	8人	25人
利用人数	7人	6人	4人	17人

2号	5歳	4歳	3歳	計
定員	48人	13人	9人	70人
利用人数	47人	19人	10人	76人

## ② 評価を実施した第三者評価機関名

名 称	(株) 第三者評価 <a href="http://daisansha.lolipop.jp/kindergarten.html">http://daisansha.lolipop.jp/kindergarten.html</a>
所 在 地	大阪市東淀川区東中島1-17-5 ステュディオ新大阪
調査日	2022年3月3日 (木)
評価調査者 2名	リーダー I・II・III章担当 吉山 浩 (兵庫県・大阪府・全社協研修受講) A章担当 現役の保育士 (兵庫県・大阪府研修受講)
保護者アンケート実施	2022年2月 回収率 78.5% ( 回収 73 / 配付 93 )
評価結果確定日	2022年3月8日 (火)

## ③ 法人理念、教育・保育理念、教育・保育目標

### 法人理念

- 一、生命の尊厳と人間愛を基本に子どもに奉仕
- 一、子どもの最善の利益と質の高い教育保育の提供
- 一、地域との連携を図り社会貢献
- 一、感謝と支え合いを礎に職員の幸福を目指す法人運営

### 教育・保育理念

愛の空間で心身共に豊かにみやびやかに育つ

### 教育・保育目標

げんきいっぱい 知恵いっぱい やさしさいっぱいの子の育成

- げんきな子 ・自分からすすんで遊べる子 ・最後まで頑張る子 ・挨拶ができる子
- よく考える子 ・人の話を静かに聞ける子 ・創意工夫ができる子
- ・自分の思いや考えを話せる子
- おもいやりのある子 ・友達と遊べる子 ・動植物に親しみ大切にする子
- ・公共のマナーを大事にする子

#### ④ 松島こども園の特色ある幼児教育・保育活動

1	<p>○ 受容・共感（待つ心・認める心・感謝の気持ち）</p> <p>子ども達一人ひとりのペースや気持ちを受け止め大切に、「今」の気持ちに寄り添い、共感しながら信頼関係を構築している。信頼関係づくりを大切にいくことで、子ども達は落ち着き安心して過ごすことができる環境の中で、教育保育活動に参加することが出来る。園児に限らず保護者支援でも園との信頼関係づくりを進めるために受容・共感の気持ちで丁寧に関わり、子育ての悩みなど家庭と共有しながら子ども達の育ちを見守っている。</p>
2	<p>○ 体育あそび</p> <p>園庭がある恵まれた環境の中で、朝は体育ローテーションで走る⇒飛ぶ⇒ぶら下がるなどの内容を取り入れて、体を動かす習慣をつくり、体を動かすことの心地よさを体験することで心身の成長を促している。幼児期までは、脳と身体は連動していることから朝の体育ローテーション以外にもクラスごとに体育あそびの時間を設けて、個々の興味のある縄跳びや跳び箱など用具を使ったあそびも取り入れている。年齢に応じてチャレンジカードを作成して、目標に向かって達成する喜びを味わえるように、年間通して活動内容も工夫している。</p>
3	<p>○ リミック</p> <p>子ども達は音楽に合わせて体を動かしたり、歌をうたったりと身近に音楽と常に触れ合っている。リミックでは、(視覚・聴覚・触覚)といった五感を働かせて、音と触れ合い、音を聞いて想像力を働かせている。リミックでは音楽を聴いてそのイメージを声や踊りで表現していくなどの集中力を養い、楽器を演奏したり、季節の歌を歌ったりすることでリズム感を養い、集中力やリズム感など優れた情操教育を音楽をとおして受けることで、豊かな人間性が育まれる。</p>
4	<p>○ 絵本の読み聞かせ</p> <p>園では、絵本の読み聞かせの時間を設けている。絵本の読み聞かせを通して、言葉の獲得や言葉の表現力などを養い、多くの言葉に触れている。生活の中で使っている言葉で表現されない表現を本を通して獲得していく大事な機会を大切にしたい。子ども達は、絵本を通して多くの言葉を獲得するがそれは、保育教諭との共有があつてこそ獲得に繋がると言われているので、家庭でも親子の時間を作ってもらうために、絵本の貸し出しも行っている。</p>
5	<p>○ 地域交流</p> <p>コロナ禍の中でもできる取り組みとして、行っていることが子ども達の地域清掃である。なかなか行事を通した交流はできていないものの、園周辺のごみ拾いを月1回年長クラスが取り組んでいる。この活動を通して子ども達が地域の一員だということを認識して欲しいと思っている。園内だけに目を向けるのではなく、視野を広げていく機会を設けた。この取り組みを通して子ども達が自ら「ごみのポイ捨て禁止」のポスターを作成し、掲示した。</p>

#### ⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年4月20日（契約日）～ 令和4年3月8日（評価結果確定日）
受審回数	2回目（前回受審 2019年度）

## ⑥ 総 評

### ◇ 特に評価の高い点

- (1) 2月実施の保護者アンケート結果でも極めて高く評価されている、体育ローテーションを通して、毎朝体を動かせるような「カリキュラム」を取り入れ、健康的な体作りを行って、「教育・保育目標」の1番目に掲げる げんきいっぱい・げんきな子 を実現されています。
- (2) コロナ禍でも日々の子どもの様子が保護者に伝わるように見やすい写真入りで、毎月「クラスだより」、「園だより」、「給食だより」を発行したり、毎日大きな写真で「今日の給食」を掲載したり、ブログで教育・保育の様子を伝える等、分かりやすい写真を活用したICT (Information and Communication Technology 情報通信技術) での発信力が優れています。この活動は地域の方々にも伝わっています。
- (3) 地域貢献・密着にもさらに力を入れようとされています。子どもたちが主体となって活動し、毎月地域清掃を実施したり、どのように地域を綺麗に保てるか子どもたちで話し合い、ポスターを作成したりしています。また、子ども食堂を運営する法人のサポートも行っています。
- (4) 2022年から時代は大きく変わり、世の中は激動していくと思います。  
柔軟さ・賢さ・チャレンジ精神を併せ持つ園長が采配を振るっています。  
いつの時代も「変化する者だけが生き残る」です。園長の時代がやって来ます。  
さあ～、これからです。大いに期待します。

### ▼ 改善を求められる点 ( b 評価となった 1 項目 )

評価基準 17番 II-2-(3)-① 教諭一人ひとりの育成(目標管理)に向けた取組

共に議論する中で気付かれた各人の強みを意識し、明確な目標の設定、水準、期限が共有しやすい方法へのステップ・アップが望ましいと感じました。

### △ 推奨事項 2 項目

- 1) 評価基準 1番 I-1-(1)-① 理念・方針・教育・保育目標の保護者の認識度をもう少し上げたい。
- 2) 評価基準 41番 III-1-(5)-⑤ 公私連携型認定こども園の立地は、小学校と隣接し、小学校側からの不審者侵入の恐れを多くの保護者は心配しています。  
それに対する訓練は園できっちり実施しています。  
大規模自然災害の訓練実施と同様、  
保護者にもう少し上手く不審者侵入対応訓練の実施状況を伝えたい。

⑦ 第三者評価結果に対する 松島こども園のコメント

今回、第三者評価を受審し高い評価をいただいたことは素直に嬉しく思っています。日頃から園の職員（保育教諭をはじめ）の子ども達に対する誠実な態度や愛のあふれる言葉かけ、日々の努力がこの結果に結びついたと思っております。

評価を受けるのは、2回目になりますが前回と比較しても私たちの園の理念や保育方針が保護者の方に伝わっていることを改めて実感することができ、この結果は職員一人ひとりの自信に繋がっていくと思います。私たちが日々大切にしている「受容・共感」そして感謝する心が子ども達と丁寧に関わるという姿勢として子ども達や保護者にも伝わり、安心・安全な環境で教育保育が進めることが出来ました。全職員の努力と保護者の皆様のご協力のおかげだと思っております。今年度に限っては、コロナウイルス感染症の影響で、保護者が参加する行事が限られた状況にありホームページや掲示板を利用したお知らせでしか保護者と子どもの育ちを共有できませんでした。今後は、この状況を前向きに捉えて今できることを一つひとつ取り組んでいきたいと思っています。

保護者の皆様をはじめ地域の方々、松島小学校の校長先生をはじめ職員の皆様に支えて頂いているおかげで、教育保育に邁進できます。感謝の気持ちを忘れず、今回課題とされている内容を職員と共に改善し、これからも保護者や地域の方々から愛されるこども園運営を目指して日々、邁進していきたいと思っております。